

事例74 認知症リモートカフェ

分類： 居場所 アウトリーチ 相談 学習支援 見守り 住民主体

運営団体基本情報

● 運営団体名	宇部市北部西地域包括支援センター	● 代表者名	理事長 土屋直隆	● 所在地	山口県宇部市大字船木833番3
● スタッフ構成	4名（包括職員）	● 運営財源	宇部市委託事業		
● 連絡先	宇部市北部西地域包括支援センター TEL: 0836-67-0506 Mail: houkatsu@furoukai.jp	● ホームページ（参考情報）	http://www.furoukai.jp/index.html		

新型コロナウイルス感染症拡大前の事業概要

● 対象者層	高齢者、認知症の方を支える家族、地域住民	● 活動頻度	2か月に1回 偶数月第4水曜	● 活動場所	法人内施設レストラン「サムラ」
● 活動の形態	相談業務、認知症カフェ、地域交流	● 平均利用者数	10名程度	● 利用料金	原則無料

【活動の特徴と新型コロナウイルス感染症対策】

<p>具体的な活動</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症拡大前</p> <p>受託法人内の施設で2か月に1回の認知症カフェを開催。地域住民の方や認知症の方、その家族が集える場所として、介護にまつわる専門家が情報提供を行っていた。</p>	<p>● 活動経費</p> <p>タブレットは宇部市より貸与のため無料</p>
	<p>●新型コロナウイルス感染症拡大後の取組と工夫</p> <p>令和2年4月から認知症カフェが開催できなかったため、個別訪問を行っていた。しかしみんなで話す機会がなく、なにかできることは無いか思案していた。そこで市から認知症カフェのオンライン開催支援をすることで関係機関と協議をし、開催を決めた。接続先は、医療機関・グループホーム・デイサービス・地域住民など7か所とつなぎ、各接続先に使い方などを説明する担当職員を配置した。テーマは「新型コロナウイルス感染症予防で外出自粛が長く続いたが、家ではどのようにすごされていませんか？」と、外出自粛中にどのような不安を抱えているのかをお聞きした。認知症の家族を抱えている方から、在宅生活で色々工夫していることなどを話してもらった。またWEB会議に慣れていないので随所に首の体操やO×クイズ、ハンドベルで合奏したりと、固くならない雰囲気づくりにも気を付けた。</p>	<p>● その他、特記事項</p> <p>★市町村基本情報 山口県宇部市 山口県南西部に位置し、瀬戸内海に面している拠点都市。 人口 163,544人 高齢化率33.1%（2020.4.1）</p>
<p>●取組の効果</p>	<p>今の状況下でも、施設利用者や地域住民、専門職が集える場所づくりをすることで、不安の軽減や認知症・フレイル予防につながった。また開催して欲しいとの声も多く聞かれ、新たな集いの場所として今後も開催したい。</p>	